

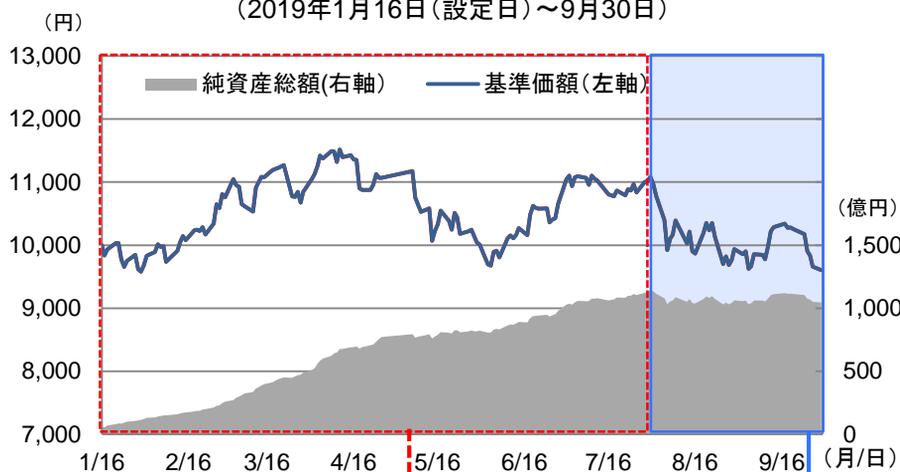
グローバル全生物ゲノム株式ファンド(1年決算型) 足元の基準価額の下落と今後の見通しについて

8月1日にトランプ米大統領が対中制裁関税第4弾の発動を表明したことなどから、世界的に株価が下落したことに加え、米国での薬価引き下げの議論や当ファンドの保有銘柄の一部の資金調達による株式価値の希薄化懸念などから、当ファンドの基準価額は下落基調となりました。

本資料では、当ファンドのマザーファンドの運用に助言を行なうアーク・インベストメント・マネジメント・エルエルシー(ARK)からのコメントなどを参考に、足元の下落の要因や今後の見通しについて、お伝えします。

基準価額の推移と騰落率について

＜基準価額の推移＞
(2019年1月16日(設定日)～9月30日)



基準価額
9,604円
純資産総額
1,045億円
2019年9月30日現在



※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

足元の下落要因について

■ 当ファンドのマイナス要因となった主な銘柄(2019年7月末~9月末)

	銘柄	国	業種	寄与度	株価騰落率*
①	インビテ	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	-1.66%	-28.3%
②	インテリア・セラピューティクス	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	-1.17%	-26.2%
③	ルビウス・セラピューティクス	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	-0.87%	-41.0%
④	CRISPRセラピューティクス	スイス	医薬品・バイオテクノロジー	-0.86%	-19.1%
⑤	ガーダント・ヘルス	アメリカ	ヘルスケア機器・サービス	-0.85%	-32.1%

* 2019年7月31日~9月30日の株価騰落率(米ドルベース)

上記銘柄の下落理由として、資金調達に絡む株式価値の希薄化懸念や市場予想を下回る決算内容といった個別要因に加え、米国での薬価引き下げの議論再燃などが、バイオ医薬品関連セクター全体の重石となったことが考えられます。

■ 当ファンドのマイナス要因となった主な銘柄の下落理由について

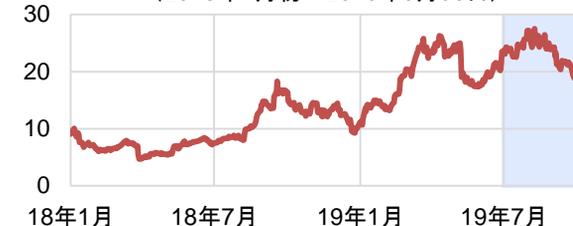


① インビテ

転換社債の発行による株式の希薄化懸念が重石に

- ✓ 同社の株価は、2019年8月上旬に今年の高値を付けたものの、9月4日引け後に2億米ドルの転換社債の発行を発表(6日に、3億米ドルへ増額)、これによる株式価値の希薄化懸念などから、翌5日の取引で9%弱下落しました。
- ✓ その後も、米国での薬価引き下げ議論の再燃などにより、バイオ医薬品関連セクターが下落する中、同社の株価も下落基調となりました。
- ✓ 尚、同社では転換社債による調達資金は既存の社債の返済資金に充てるほか、設備投資、国際的な事業の拡大など、将来の事業拡大のための資金と説明しています。

＜株価の推移＞
(2018年1月初~2019年9月30日)



ARKの視点

- 検査精度の高さやコスト競争力などから、**同社の分子診断サービスによる診断が標準的な診断方法になる可能性がある**と考えており、今後の業績のさらなる拡大を見込んでいます。

ARKのコメントおよび各社公表資料など信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆するものでもありません。

※ 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■ 当ファンドのマイナス要因となった主な銘柄の下落理由について(続き)

 ② インテリア・セラピューティクス

大型の資金調達を可能にするためのSECへの新規発行登録が重石に

- ✓ 同社は2019年8月23日、3億米ドルを上限とする証券の新規発行(株式や社債など)を可能とするために、一括発行枠の登録をSEC(証券取引委員会)に行ないました。
- ✓ 3億米ドルは同社の時価総額(発表当時)の約40%に相当する規模であったことから、市場では株式価値の希薄化懸念が強まり、翌週27日にかけて、大幅な下落となりました。



ARKの視点

- 同社は、**ゲノム編集技術「CRISPR/Cas9(クリスパー/キャスナイン)」の基礎的特許ライセンスを持つ3社の一角**であることに加え、有力製薬企業などとのパートナーシップでも知られていることなどから、ARKでは、同社は高い成長を実現すると考えています。

 ③ ルビウス・セラピューティクス

市場予想を下回る決算内容が重石に

- ✓ 同社は、希少疾患やガン、自己免疫疾患などの治療に向けた細胞療法の研究・開発を行なっています。
- ✓ 2019年8月2日、4.5億米ドルを上限とする証券の新規発行枠を登録したことを発表しました。これによる、株式価値の希薄化懸念が、株価の重石となりました。
- ✓ 加えて、8月13日に発表された第2四半期決算で、税引後利益が市場予想をやや下回る赤字となりました。また、一部のアナリストが目標株価を引き下げたことなども、投資家心理を悪化させました。



ARKの視点

- 同社の製品は、**3つの異なる疾患領域(希少な遺伝性の疾患、ガン、自己免疫疾患)に対して、相対的に大きな治療効果をもたらす可能性がある**と考えています。

ARKのコメントおよび各社公表資料など信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆するものでもありません。

※ 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■ 当ファンドのマイナス要因となった主な銘柄の下落理由について(続き)

+ ④ CRISPRセラピューティクス

決算内容が嫌気され、株価が下落

- ✓ 2019年7月30日に発表した第2四半期決算で、一般管理費の増加などにより、最終利益が予想を下回る赤字となったことが嫌気されました。
- ✓ 一方、現在進行中のCRISPR/Cas9を使った輸血依存性ベータサラセミアや鎌状赤血球症向け治療薬の臨床試験(フェーズ1,2)における安全性と有効性のデータを、2019年後半にも取得予定であることなどが、同日発表されました。これを受け、調査結果への期待などから、複数のアナリストが目標株価を引き上げました。



ARKの視点

- 同社の主要なパートナー企業であるバーテックスとの提携の範囲を、これまでの鎌状赤血球症だけでなく、デュシェンヌ型筋ジストロフィーや筋強直性ジストロフィーに拡大することを発表しました。このパートナーシップの拡大は、**同社の遺伝子編集技術の重要性を示すもの**と考えています。

USA ⑤ ガーダント・ヘルス

大株主の株式売却報道などによる需給悪化懸念が下落要因に

- ✓ 同社は、血液によるガン診断サービスなどを、世界中で提供しています。
- ✓ 株価は、第2四半期決算発表後の2019年8月上旬に上場来高値を付けた後、利益確定の動きなどから下落傾向となりました。
- ✓ 加えて、9月中旬に同社の筆頭株主であるソフトバンク・ビジョン・ファンドが保有する、同社の株式の一部を売却したとの報道を受け、株価は下落基調となりました。



ARKの視点

- 多数のバイオ医薬品に関するパートナーシップやマルチオミクス解析技術*1などから、**同社は液体生検*2分野におけるリーダー的存在になると**見込んでいます。

*1 遺伝子やタンパク質など、人体の機能を司る様々な物質を、網羅的に分析する技術

*2 血液などの体液サンプルを使って、ガンなどの診断や治療効果予測を行なう技術

ARKのコメントおよび各社公表資料など信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆するものでもありません。

※ 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

(ご参考)米国における薬価引き下げを巡る動きについて

■ 薬価引き下げに向けた動きが加速

- ✓ 2019年9月19日、米民主党のナンシー・ペロシ下院議長が、処方箋薬の薬価抑制に向けた法案のドラフトを公表しました。
- ✓ 同法案は、競合製品がなく高額な医薬品に関して、政府が製薬会社との価格交渉を直接行なうことを可能にすることで、薬価高騰に対する政府の管理を強めようとする試みのひとつです。この価格交渉によって決められた薬価は、メディケア(高齢者・障害者向け医療保険)だけでなく、民間保険に加入する全国民に適用されるとしています。
- ✓ 尚、価格交渉を拒否する企業には、前年の医薬品販売額の6割以上に相当する罰金を科すなど、厳しい内容が含まれています。
- ✓ このほか、同法案に先立ち、超党派議員による処方薬の薬価引き下げに向けた法案策定も進むなど、米国では、薬価引き下げに向けた動きが加速しています。
- ✓ トランプ大統領も薬価の引き下げには前向きであり、超党派での仕組みづくりを提言しています。来年の大統領選での材料として、薬価引き下げの実績作りをする思惑もみられ、今後の動向が注視されます。

※ 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

今後の見通しについて

■ 革新的なゲノム関連技術が医療費引き下げに寄与

- ✓ 当ファンドが投資を行なうゲノム関連企業は、現時点では症状の「緩和」が中心である疾患の「治癒」治療や、従来困難だった「早期診断」などに取り組んでいます。
- ✓ ゲノム関連技術がもたらす治療効果や疾患検出能力の向上は、**長期にわたる高額かつ不十分な従来型の治療を一度きりの遺伝子治療や疾患への早期対応に置き換え、結果的に将来の医療費支出削減に大きく貢献すると期待されます。**
- ✓ 短期的には、医薬品関連セクター全体での動きに影響を受ける可能性があるものの、長期的にはゲノム関連技術の普及に伴ない、株価は見直されるものと考えられます。

■ 来年の米大統領選挙をにらみ、中国との対話継続が期待される

- ✓ 米中貿易摩擦に関しては、先行き不透明な状況が続いています。米中の対立長期化は世界の株式市場の下押し要因となり、**しばらくは市場の変動率が高くなると想定されます。**
- ✓ このような中、**閣僚級協議が10月初めに再開され、農産物購入や通貨政策などで部分合意し、今後も協議は継続される見込みです。**米中両国が早期に包括的な合意に達する可能性は低いとみられるものの、交渉再開を機に、合意に向けた協議の進展が期待されます。

■ ゲノム関連市場は、引き続きマーケットの拡大が期待される

- ✓ 2019年8月、**米国でCAR-T細胞(キメラ抗原受容体T細胞)療法を、メディケア(高齢者・障害者向け医療保険)の給付対象にすることが決定されました。**CAR-T細胞を用いる治療薬は、標準的な医薬品では効果が出ない白血病やリンパ腫治療の新しい選択肢と考えられています。しかし、薬価が非常に高額なことに加え、これまで全米で統一されたメディケアの指針が存在しなかったことなどが、利用拡大の妨げとなっていました。
- ✓ 同療法の治療薬開発には、多くのバイオ医薬品企業などが取り組んでおり、**今回のメディケアの給付対象決定を機に、さらに開発が加速**する可能性があります。
- ✓ 日本でも、2019年5月に2つの「ガン遺伝子パネル検査*」の保険適用が承認されるなどの動きがみられるほか、10月よりゲノム編集食品の届出受付が始まるなど、**今後、ゲノム関連技術のマーケットが大きく拡大していく**と期待されます。
- ✓ また、2019年以降、ゲノム関連企業のM&Aについては大型案件が複数成立しています。この動きは引き続き活発な状況が続くとみられ、こうした**M&Aなどによる資金流入は、ゲノム関連企業の今後の成長を加速させる**と期待されます。

* ガンに関わる数多くの遺伝子を、1度の検査で網羅的に解析する検査

上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆するものでもありません。

アーク社からのメッセージ

■引き続き、ゲノム関連企業の長期的な成長に着目

- 一般に、ゲノム関連銘柄などのバイオテクノロジー関連企業は、中小規模の企業も多いことから、**株価の変動が大きい傾向にあります。**
- また、株式市場の調整局面においては、市場心理などにより、高い利益成長が期待される革新的な企業であっても、大きく売られる場合があると考えています。
- 実際に、足元の調整局面では、革新的で優れた事業を行なっているにも関わらず、売られ過ぎと考えられる銘柄が見られます。
- こうした銘柄は、**市場が落ち着いた際に反発することが期待され**、今回のような調整局面は、こうした革新的な企業へ割安に投資する機会であると考えられます。
- 当ファンドでは引き続き、**短期的な動きに一喜一憂せず、ゲノム関連企業の長期的な成長に着目した銘柄選択を行なってまいります。**

上記は、「グローバル全生物ゲノム株式ファンド(1年決算型)」のマザーファンドに助言を行なっているARKのコメントをもとに日興アセットマネジメントが作成したものです。当情報は、資料作成時点における市場環境について、運用担当者の見方あるいは考え方等を記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、見解は変更される場合があります。

当資料は、投資者の皆様へ「グローバル全生物ゲノム株式ファンド(1年決算型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

組入上位10銘柄(2019年9月末時点)

(銘柄数:52銘柄)

	銘柄名	通貨	国・地域名	業種	組入比率	(ご参考) 設定来騰落率*
1	イルミナ	米ドル	米国	医薬品・バイオテクノロジー	9.8%	-0.5%
2	ブリistol・マイヤーズスクイブ	米ドル	米国	医薬品・バイオテクノロジー	5.0%	3.2%
3	CRISPRセラピューティクス	米ドル	スイス	医薬品・バイオテクノロジー	4.6%	15.8%
4	リジェネロン・ファーマシューティカルズ	米ドル	米国	医薬品・バイオテクノロジー	4.6%	-31.4%
5	テラドック・ヘルス	米ドル	米国	ヘルスケア機器・サービス	4.2%	12.1%
6	エディタス・メディシン	米ドル	米国	医薬品・バイオテクノロジー	4.1%	-13.4%
7	インビテ	米ドル	米国	医薬品・バイオテクノロジー	4.1%	34.8%
8	インテリア・セラピューティクス	米ドル	米国	医薬品・バイオテクノロジー	3.3%	-11.1%
9	アップル	米ドル	米国	テクノロジー・ハードウェア	3.0%	44.6%
10	ヴェラサイト	米ドル	米国	医薬品・バイオテクノロジー	2.7%	50.7%

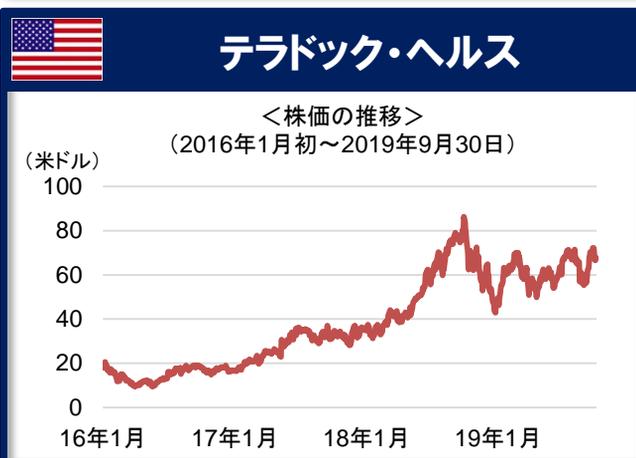
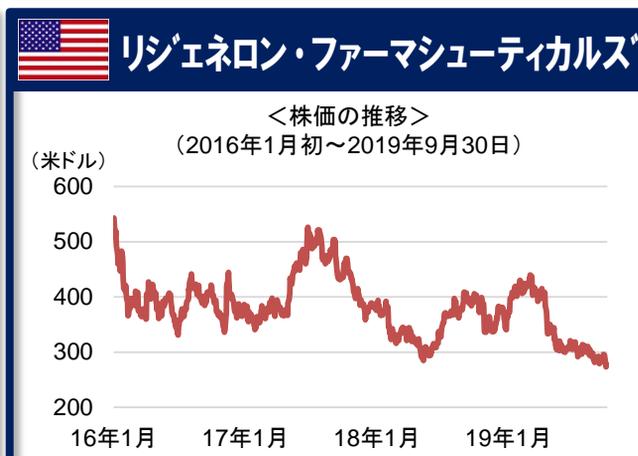
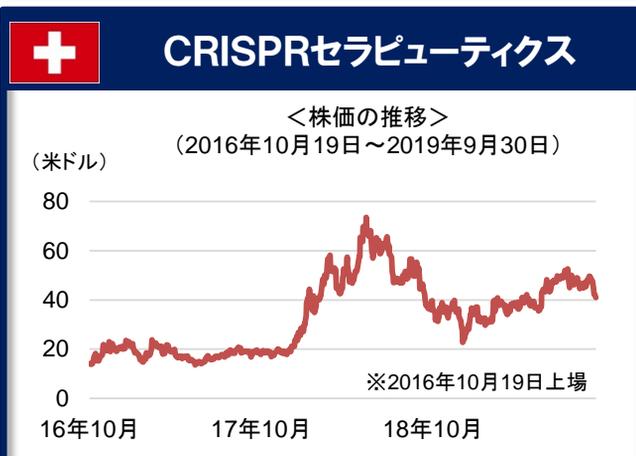
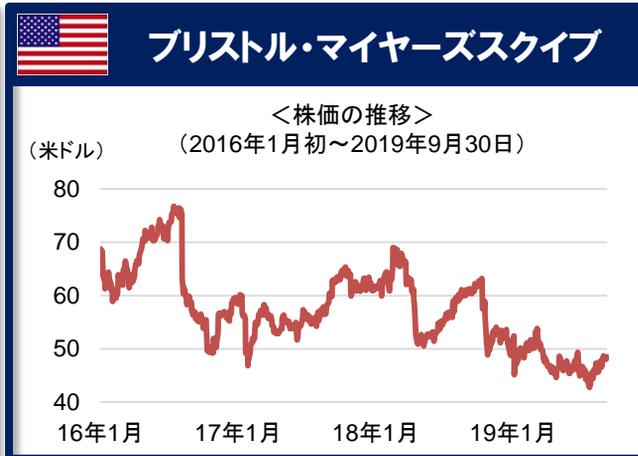
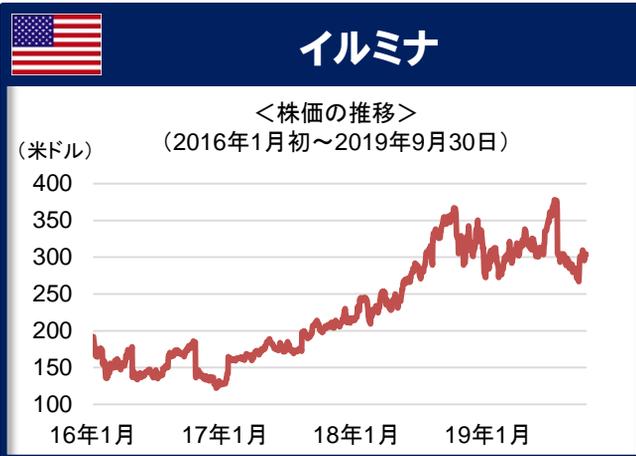
* 2019年1月16日(設定日)~9月30日の株価騰落率(米ドルベース)
 ※2019年9月末時点の組入銘柄であり、上記の株価騰落率計算期間中、継続して保有していたことを示すものではありません。
 信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※ 上記はマザーファンドの状況です。比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。
 ※ 業種名はGICS(世界産業分類基準)に基づきます。
 ※ 個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。
 ※ 上記銘柄については将来の組入れを保証するものではありません。

※ 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ご参考:組入上位銘柄の株価推移①



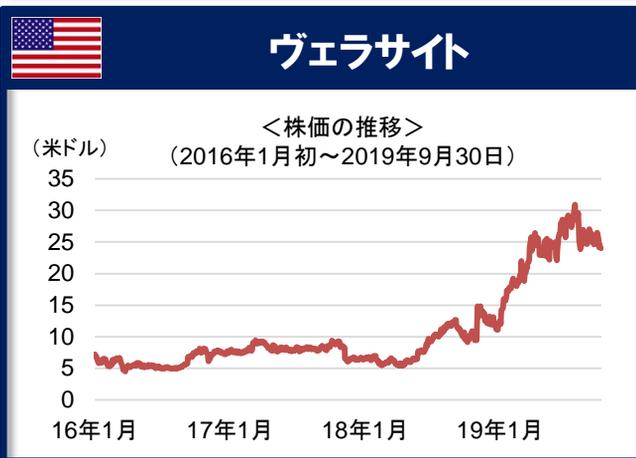
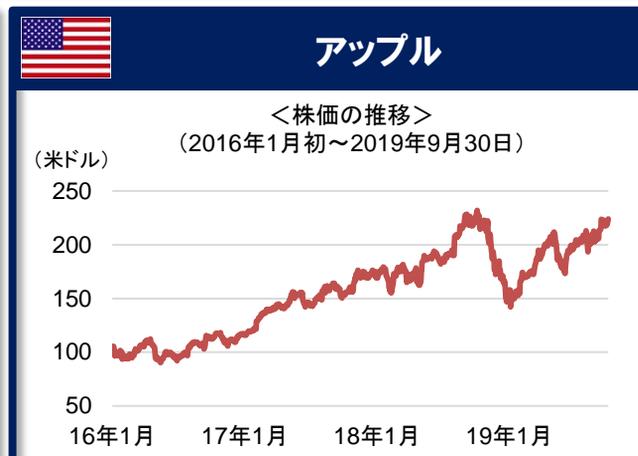
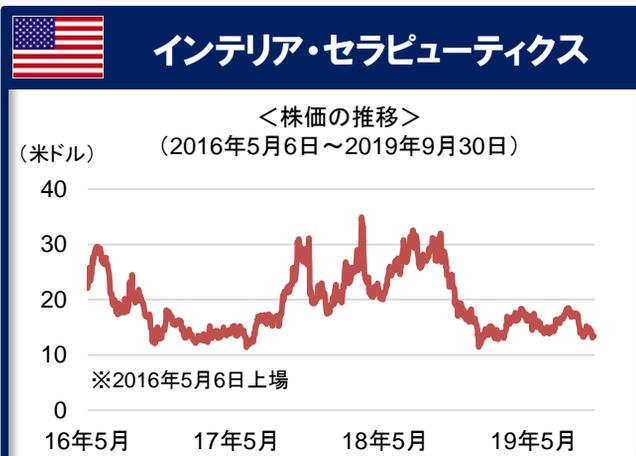
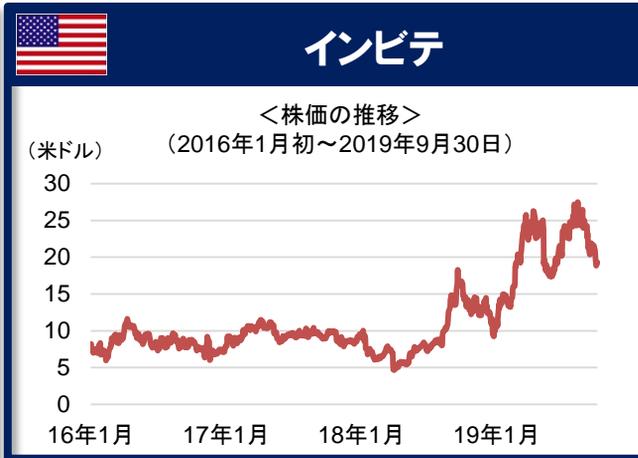
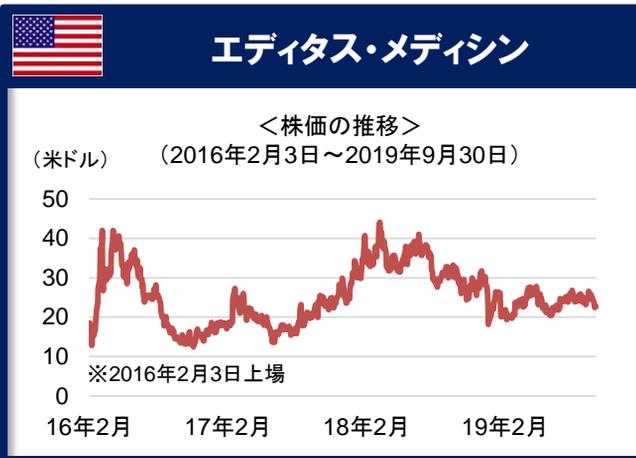
信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆するものでもありません。

※ 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ご参考:組入上位銘柄の株価推移②



信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆するものでもありません。

※ 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

ファンドの特色

- 1 主に、世界の株式の中から、ゲノム関連ビジネスを行なう企業およびゲノム技術の恩恵を受ける企業の株式*に投資を行ないます。
* 預託証券を含みます。
- 2 個別銘柄の選定において、アーク社の調査力を活用します。
- 3 年1回、決算を行ないます。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

お申込み に際しての留意事項

■リスク情報

投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

お申込みメモ

商品分類	追加型投信／内外／株式
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	2028年12月7日まで(2019年1月16日設定)
決算日	毎年12月7日(休業日の場合は翌営業日)
購入・換金 申込不可日	販売会社の営業日であっても、購入・換金の申込日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

<申込時、換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料	購入時の基準価額に対し <u>3.3%(税抜3%)以内</u> ※購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に対し <u>年率1.804%(税抜1.64%)</u>
その他の 費用・手数料	目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。 組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。 ※ 運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。また、有価証券の貸付は現在行なっておりませんので、それに関連する報酬はかかりません。

※ 投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
投資顧問会社	日興アセットマネジメント アメリカズ・インク
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ]www.nikkoam.com/ [コールセンター]0120-25-1404(午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
大和証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○

(資料作成日現在、50音順)